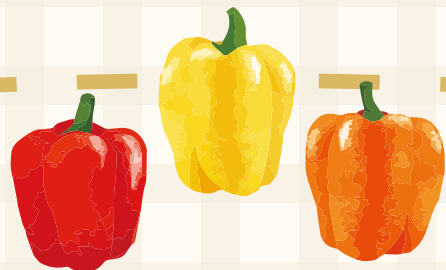


GAPって

なに？



GAPとは、Good Agricultural Practice（良い農業のやり方・農業生産工程管理）の略で、農業において、商品安全・環境保全・労働安全等を確保するための取組を意味します。

簡単に言うと、農場内における整理整頓の徹底や清掃・片付けの実践、そして作業日誌や帳簿類を適切に管理することを指します。実施されているかどうかを第三者が審査し、合格すると「認証」となります。

また、東京オリンピックの選手村で使用された食材はGAP認証を取得していることが必須条件となっていました。



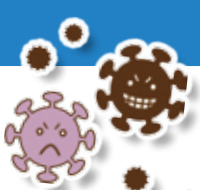
なぜGAPが必要なの？

私たちが毎日口にする農産物。
買い手は“より安全なもの”を選びたいと考えています。



消費者

毎日食べる野菜の安全性が心配…
農薬が残っていたり、食中毒の危険はないかしら…



消費者が農産物を購入するとき、その野菜や果物がどんな環境で育ち、どんな経路で収穫され店頭並べられたのかを直接確認することはできません。

GAPは、食品安全・環境保全・労働安全・工程全般など、多岐にわたる適合基準のもと作られており、厳しい基準をクリアした農場だけが認証を取得することができます。つまり、GAP認証は農産物が安全な環境で育ったことが一目で分かる目印なのです。

GAPの目印

GAP認証取得農産物は、量販店等で購入することができます！

このマークが目印！→
このほかにもいろいろな種類のマークがあります。

